

初日
之光
祖国
心

海
天
波
流
生

高校(C)俳句

初日さす 砥の海に 波もなし 初日が差す砥の海は穏やかで、波ひとつ立つていらない。明治の俳人、詩人の正岡子規の正月の句。砥の海とは、墨を溜める深い部分。これに對して墨をする部分を丘と言う。砥と言う狭い世界を海のように広い世界に見立てて「波もなし」と言い切つたところに、穏やかな雰囲気とそこに込められた新年の静かな決意が感じられる。この句を好む書道家が多い。

令和6年度全国学生書き初め展覧会 毛筆参考手本 主催 一般社団法人日本書字文化協会、共催 公益財団法人文字・活字文化推進機構 後援 文部科学省ほか 大平恵理書

初日
晴
天
國

海
天
波
流
山

高校
(C)
俳句

初日さす 砥の海に 波もなし 初日が差す砥の海は穏やかで、波ひとつ立つていらない。明治の俳人、詩人の正岡子規の正月の句。砥の海とは、墨を溜める深い部分。これに對して墨をする部分を丘と言う。砥と言う狭い世界を海のように広い世界に見立てて「波もなし」と言い切ったところに、穏やかな雰囲気とそこに込められた新年の静かな決意が感じられる。この句を好む書道家は多い。